

お悩み解決Q & A ~対話編~

部下の思いを汲んだ対応をするためには「対話編」は職場にありがちな従業員同士の事例で、職場で対話を実現するための手法や考え方を紹介します。

Vol. 47
2022年4月26日

Q

部下の思いを汲んだ対応をする為に、上司が気をつける事ってなんだろう？



■事例：部下が上司に対して自身の役割の範囲を超えたことにチャレンジしたいと相談をすると…

× 悪い例

部下B

上司A

わかりました…
(マネージャーの言う事は分かるけど…何だか枠にはめられているようで働きづらいなあ…)



その仕事はあなたの役割ではありません。あなたに求められている役割は〇〇なので、その範囲の事をやってください。

○ 良い例

部下D

上司C

わかりました。
他のメンバーの働き方も見ながら考えてみます。



提案してくれてありがとう。それを具現化する仕事は、あなたの雇用形態の役割を超えているんだけど、どのように関わることができるか考えよう。



上司が部下の思いを汲んだ対応をするためには、頭に浮かんだバイアスを一度飲み込んで、メンバーの主体性を促す問いかけをしてみることも。傾聴と共感の姿勢が重要うさね！